

【第 1 号議案】 平成 24 年度事業報告
(平成 23 年 11 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日)

1. 登録会員数（平成 24 年 10 月 31 日付）は以下の通り

個人会員 : 234 人
法人会員 A : 51 社
法人会員 B : 7 社
公益会員 : 2 社

2. 設立総会

設立総会を平成 23 年 11 月 28 日に全電通労働会館において開催した。発起人及び当日出席者の賛成多数により、環境放射能除染学会の設立が承認され、発足をみた。また理事長、副理事長、会長、副会長、評議員、理事の承認、学会活動として年 3 回程度の講演会、予算計画、研究発表会、ジャーナルの発行等の活動計画が承認された。

3. 講演会活動

平成 24 年度において、計 3 回の講演会を実施した。

第 1 回講演会・第 2 回講演会は NPO 法人環境測定品質管理センターとの共同開催、第 3 回は環境放射能除染学会の主催で他学会の協力を得て実施した。それぞれの講演会のテーマ、日程及び会場、参加者数は下記の通りであった。熱心な質疑等も行なわれた。また、講演会要旨について購入希望者に配布した。

・第 1 回講演会

設立総会に併設して行われた。

日 程：平成 23 年 11 月 28 日

場 所：全電通労働会館（参加者 165 名）

・第 2 回講演会

作業安全のための展示を併設して行った。

日 程：平成 24 年 3 月 5 日

場 所：科学技術館サイエンスホール（参加者 231 名）

・第 3 回

テーマ：除染に向けての環境放射能のモニタリング・計測法

日 程：平成 24 年 9 月 7 日

場 所：幕張メッセ国際会議場（参加者 144 名）

4. 研究発表会

第 1 回研究発表会は、福島市において、福島大学 佐藤理夫教授を実行委員長とし、全国からの研究者の参加者のもとで研究発表会が開催された。

初日の 5 月 19 日には、環境省との共催による国際シンポジウムが開催され、米国エネルギー省の大西博士、米国 EPA のカルダレッリ博士、英国グラスゴー大学のサンダーソン博士を招聘し、また国内から ICRP 委員丹羽博士、福島環境再生事務所の大村所長、伊達市の半澤放射能対策政策監付次長が参加した。国際シンポジウムのあと、国立環境研究所との共催による復旧・復興ワークショップが開催された。

日 程：平成 24 年 5 月 19 日～21 日

- ・ 19 日 国際シンポジウム及び復旧・復興ワークショップ（参加者 811 名）
- ・ 20 日・21 日 研究発表会（参加者 618 名）

場 所：パルセいいざか

5. ジャーナルの発行及び分科会の状況

- ・ 京都大学 米田教授を編集委員長として、学会誌の発行を準備した。論文審査等もあり、年度内の発行は困難であるが、25 年度早々に発行にこぎつける予定となっている。
- ・ 分科会の発足が遅れ、その活動はまだ準備中にある。25 年度早々に活動が開始される予定。部分的な活動が廃棄物部会で開始された。